



1985年上智大文卒。カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者(COO)などを経て、2010年6月インディゴブルー社長(15年11月から会長)。2014年6月から東証マザーズ上場のバス最高経営責任者(CEO)。

バス最高経営責任者 柴田 励司氏

インディゴブルーの会社を1社立ち上げた。社長を降した。11月1日か 就任時には子会社をあらわら会長だ。これまでも複 せて年商わずか4億で、数の会社で社長という仕 かつ大赤字だったが、い 事をしてきたので社長職 まは約10倍の規模になっ を降りるのは過去にも体 た。規模を確保しつつ、 験済みだが、今回は特別 成長カーブを立ち上げ なりにしろ、自分で興した 会社だからだ。

一般的に社長が退任す る理由は次の3つ。①年 ゴブルーの社長の仕事を 齢、任期満了②業績不振 続けることが難しくなっ ③不祥事。今回、私 たのだ。

が退任したのはこのい ずの理由でもない。別 ブルーとバスはつながっ の人にやってもらった方 がいいと思ったからだ。 思えば、私が社長職を降 と、想定しているスピー ーリングはいつもこの理 由だ。

□ □ □
 昨年の6月からマザーズに上場しているバスの最高経営責任者(CEO)を兼務している。バスの成長戦略はM&A(合併・買収)。これまで3社をM&Aし、さらに合併 新社長は精力的に動い

別の居場所みつける努力を

ている。全社員と面談し、 だ。 これまで心血を注いで 新たな方針を打ち出して いる。頼もしい。お願い して良かったと思う。一 方で自分の中に何とも言 えない寂しさがあるのも 事実だ。新社長から新た な方針を聞くことと、何 自分も同じことを考え、 やろうとしたが思った通 りにならなかった。結果 としてやれていないので 指摘されて当然だが、で きなかったのは理由が ある……。これまで雇わ れ社長を降したときには 感じなかった感情がそこ にある。これがオーナー 社長の後継者選びが難し くなる本質だと痛感し 要だ。

□ □ □
 私の場合には別に大仕 事があるので、その感情 が悪い。オーナーの俺が社 長という意識を健全大 はそつではない。自分の 年齢を考え、社内外から 自分の後継者候補を自ら 探してくるが、その候補 者が精力的に動けば動く ら3か月、奥様と一緒に 抑えられなくなる。後継 者のあらしをして、潰し 所がなくなるのが怖い。 絶した期間を強制的に持